

さに今日の国際社会の縮図である。競合する諸勢力の緩やかな連合 (a loose confederation of competing power centers) としてのカナダ国家が、それでも主権と統一性を保持する方途を模索しなければならないとして、その可能性を「強力なリーダーシップの出現」に求める議論もあるが (Axwothy, L. "The Federal System—An Uncertain Path" *Daedalus* Fall 1988 : 129-153)、現代における国民国家の命運の翳りを思えば、この選択も前途多難の感を否定できない。もちろん、「カナダ的なもの」が「アメリカ的なもの」とは違うという意識はカナダ人には強い。それが、過去においてカナダの外交をアメリカのそれと際立たせてきた要因であった。同じ移民国家でも、アメリカ合衆国は強い国家的アイデンティティを成功裡に作り上げた国である。そして、それは伝統的な民族国家イデオロギーを援用してのことであった。カナダが目指すべきは、決してアメリカの模倣ではない。ジョン・グリモンドの言葉を借りれば、それは「分権化に対する寛容を美德とするような最初のポストモダン国民国家」ということになる。それはまた、政治の機能が権力と権威を基礎にした行政から調整能力と専門性を基礎にしたマネジメントに移行するという認識でもあるのだ。(Grimond, J. CANADA survey *The Economist* 1990 : 3-18)

## あとがき

現代国民国家を再考してみる作業としてカナダを取り上げ、その実験的な試みを様々な角度から検討した。その議論をここでもう一度繰り返すことはしないが、カナダもまたその試行錯誤のなかで多くの問題を抱えながら苦しんでいる様子が明らかになった。国民国家の未来について簡単な処方箋を書くことは出来そうもない。ただ、状況的な要因群が国民国家のあり方に再考を迫っていることは確かである。同時に、積極的な国民の意思によって内部構造を多元化して、より柔軟な、許容度の高い国家を志向するというカナダの選択は評価されてよい。

ここに、1991年に行われた「カナダにおける多文化とエスニシティに関する態度調査」の分析が

ある。(Berry, J.W. and Rudolf Kalin, "Multicultural and Ethnic Attitudes in Canada : An Overview of the 1991 National Survey" *Canadian Journal of Behavioural Science*, 1995, 27 : 301-320) これによると、多文化主義 (そのイデオロギーと実践)、様々な移民集団、寛容とカナダ国家などへの態度において、一般的にはポジティブな反応が見られるという。「全体としていえば、人々の態度は前向きであると結論してよい。多文化主義は理念としても実践としてもカナダ人に受け入れられている。寛容も同じ。しかも、この多様さの受容はカナダへの帰属感・一体感を阻む原因とはなっていない。すなわち、エスノセントリズムは問題ではない。多様さと統一を共に求めることは、少なくとも心理学的なレベルでは十分な可能性を持っているように思われる。そして、こうした結論は1970年代の調査の結論と同じである。」(316頁) 強いていえば、ケベックに住むフランス系に文化的多様性とカナダに対する一体感がやや低いという結果が見えるという。

既にみたように、ケベックと共に他の州も同じような「特権」を享受することになればケベックの分離を含めて、カナダの統合は空中分解するであろう。ケベック内部についても、今度は大都市モントリオールがケベックから分離するか、北部の原住民がケベックからの独立を主張する可能性もある。その底流にあるものは、不平等や公正の欠如に対する諸集団の不満である。自分たちが疎外されていたり、不当に扱われているという認識が人々をエスノセントリックな、時には過激な行動に駆り立てるのである。

多くの先進国において、経済発展が不平等を拡大させ、自由のより大きな享受が他者に対する配慮や責任感を蝕んでいる。この一般的な状況は、カナダにも当てはまるのではないか。仮にケベックが独立しても、残りのカナダがこれに敵対的であればケベックの未来はない。そのことは、多くの分離主義者も分かっているのである。南の大きな兄弟とは違ったカナダを保持しようと思えば、現在のカナダ国家の諸構成要素が新しい公正と責任に基づく連帯を築き上げるしかない。(Bernard, P. "Canada as Social Experiment" *Canadian Journal of Sociology* 21 (2) 1996 : 245-258)